

たかやま

令和3年度 第6号
発行日：R3.10.19
発行元：高山小学校
文責：校長 山中容子

素晴らしい教育環境に感謝して

残暑が続いていましたが、高山小学校区では、お米の収穫も終わり、一気に秋が深まってきました。

さて、本校の特色の一つである学校林「みどりの道」について、高山っ子にアンケートをしたところ、みどりの道での活動がとても楽しみであり、どんな植物があるのか知りたい、いろんな道を探検したい、三瓶が見える景色が良い場所を自慢したい、ランニングしたいといった自然観察や体力づくりにも活用したいという意見がありました。また、みどりの道がいつできたのかという質問もあり、調べてみました。この地に高山小学校が建設されて、その後、広大な山を学校林として整備されたことを知りました。高山みどりの会による「みどり 発見ノート」を発行されたり、PTA保健体育部による「みどりの道 樹木名一覧」を作成されたりと、今あるみどりの道がたくさんの方々の努力で、県下例を見ない素晴らしい学校林として存在していることが分かりました。これから

みどりの道 案内図



も、みどりの道を有効に活用し、環境教育はもちろんですが、情操教育にも生かしていきます。学校林「みどりの道」の建設から今まで尽力された保護者様、地域の方、関係者様全ての方々に、心より感謝いたします。

たかやま大すき 高山っ子

楽しいもほり（低学年）

九月二十七日、低学年は、いつもお世話になっている坂本さんに来ていただき、芋ほりをしました。今年度も、電柵のおかげで、サルの被害に遭わずに、おいしいさつまいもを収穫することができました。長いおいも、丸いおいも、いろんなおいもがあり、焼きいも、食べ頃の大きさでしたので、調理しやすいと思います。また、冬野菜も植え付けました。大根と白菜です。



いいじゃないづくりと稲刈り、がんばりました（高学年）

九月二十四日、稲刈りを前に、いいじゃないをしました。先輩である教育実習生の市原さんはさすがでした。高山小で体験したことが全て身に付いています。上手にいいじを縛っていました。廣山さん、市原さんに教わりながら、上手に縛うことができました。

二十九日には、稲刈りをしました。あいにくの雨模様で、午後から短時間で行いました。高山っ子は、手際よく刈っていき、自分たちで作ったいいじで束ねました。最後の仕上げは、戸嶋さんが機械で刈られました。

十月五日には、もみすり体験にも行きました。今年度は、普通のお米にしました。シンブルに米の美味さを味わうおにぎりづくりをする予定です。

干し柿づくり（こだま一組）

今年は、学校の柿がたくさん実りました。十月六日、こだま一組では、干し柿づくりをしました。ピーラーで一つ一つ、丁寧に皮をむき、軒に干しました。根気のいる仕事でしたが、最後まで、「みんなに食べてもらいたい」と、一生懸命、がんばりました。学校地内で、できた干し柿がたべられるなんて、本当に素敵な事ですね！



かしこくすすんで学ぶ 高山っ子

授業公開日（全校）

九月二十二日、全学年の授業公開と人権研修会がありました。

授業では、人権に関わる内容の学習でした。登場人物の気持ちになって考えたり、オリパラのマラソン選手から学んだところ、絵本を通して人はみんないいところがあるんだと気づいたり、そして、自分にとって、大切にしたい人権とはなんだろうと考えたりしました。学年の実態に応じた内容で、一人一人の意見を大切にしながら、学習が進められました。

学習したことが、生活の中に、生かされるようにと、願っています。

大森探検（低学年）

九月十七日、低学年は集合学習で大森町に出向き間歩めぐりをしました。大森小学校のお友だちが、いろいろな場所にある間歩を紹介してくれました。龍源寺間歩に実際に入って歩いてみて、興奮気味の高山っ子でした。

昔の人々の苦労や石見銀山の素晴らしさを感じることができました。



高学年の授業では、タブレット内に表示されている図表を使って考えをまとめました。



祖式川の探検&みどりの道ネイチャーゲーム

〔静間小学校と共に〕（高学年）

九月二十四日、高学年は、静間小学校の中学年を招待し、交流学习をしました。前半は、「みどりの道探検」で、高山つ子が作成した、オリジナル・ネイチャービンゴをしました。虫や植物の手触りや香りなどを探すビンゴで、協力しながら楽しく活動できました。後半は、祖式川の泉が鼻から矢滝までの川下りでした。先日、訪れた静間の笹川とは全然違う川の様子に驚いておりました。中田眞治先生を講師にお招きし、火山活動、生物、下流の川との違いなどを分かりやすく教えていただきました。その後、不思議な形の岩盤の上を歩き、時々、水に浸かりながら、川を下りました。祖式の素敵な場所を見つけて、高山つ子の目がキラキラ輝きました。静間小のお友だちも、山の自然に触れてとても喜んでいました。



かまど体験〜熊谷家にて〜（中学年）

十月七日、中学年は、大森小学校集合学習をしました。内容は、熊谷家にて、昔の暮らしについて学習し、実際に、かまどでみそ汁とご飯を炊いて食べるという体験をしました。家の台所とは全く違うかまど体験は、難しさの中に、昔の人々の苦労や知恵を学ぶ機会になりました。

エコライフチャレンジ（中学年）

中学年は、一学期、総合的な学習の時間に環境について学習してきました。そして、夏休みにはエコライフチャレンジをしました。十月一日、その結果について、「緑と水の連絡会議」の和田さんに来ていただき、考察と、今後の生活について考える授業をしていただきました。高山つ子たちは、エコライフチャレンジの結果を分析し、グループごとに、チャレンジ目標とおすすめ目標を決め、発表しました。少しずつでもよいので、実践していけることが大切ですね。



算数研究授業（低学年）

十月八日、低学年の算数の授業研究会をしました。一年生は、水の量を比べる方法を考える授業、二年生は、いろいろな図形から、三角形と四角形を見つけ出す授業でした。一人一人が操作しながら学習できるように準備をしたので、主体的に取り組むことができ、たくさん発見がありました。指導主事の先生方から、自分の考えをしっかりと持てる高山つ子にお褒めの言葉をいただきました。今後も教材研究を重ね、一人一人の力を発揮し、問題を解決していく力をつけられる授業を目指して教職員一丸となって頑張ります。

やさしく思いやりのある高山つ子

「人権研修会」

九月二十二日、山口県障がい者スポーツ協会会長 藤田様を講師に迎え、標記の研修会を開催しました。コロナ禍であったため、オンラインでの講演となりましたが、素晴らしいお話をしてくださいました。藤田様は、車いすスポーツの競技者であり、国際大会にも何度も出場され、その後、ボッチャと出会い、東京パラリンピックの審判員として参加されました。ご自分の人生を振りかえりながら、障がいということについて子どもたちに



分かりやすく、保護者様や教職員には心に響くお話でした。講演の後には、みんなでボッチャに挑戦しました。年齢に関係なく、チームで戦える楽しいスポーツでした。みんなが笑顔になった研修会でした。保護者の皆様、ご協力、ありがとうございました。

まいにち元気でたくましい高山つ子

「宿泊研修」（高学年）

十月十三日から二泊三日で、大森小学校と合同で宿泊研修に行きました。一日目はあいにくの雨でしたが調理活動はできました。カレーライスを作りましたが、火を炊くことに苦労したそうです。二日目、三日目は、晴天に恵まれ、登山やキャンプファイヤーができました。一生懸命、活動し、友情を深めることができました。二泊三日の研修になりました。



◇大田市科学作品展・読書感想文コンクール入賞おめでとう！ 科学作品展

【特選】 一年 大中 結翔「いろつて、ふしぎ！」

※県入選 四年 石原千豊

【入選】 六年 大原陽詩「スケルトンリーフの研究」
読書感想文コンクール

【特選】 二年 寺岡 暖人「ぼくも手紙を書きたいな」